

令和5年度奈良県・市町村土木職員採用共同試験 自治体PRシート原稿

自治体名	野迫川村		
連絡先			
試験担当課	総務課		
所在地	〒648-0392 吉野郡野迫川村大字北股84番地		
電話番号	0747-37-2101		
ホームページURL	https://www.nosegawa.nara.jp		
自治体紹介			
特徴・魅力はここ！	<p>野迫川村は、奈良県の西南端に位置し、和歌山県と隣接しています。総面積の9割以上を山林や清流が占め、「世界遺産 熊野参詣道小辺（こへ）路（ち）」を擁する風光明媚な山村です。大自然の神秘を感じさせる雲海や、満点の星空に包まれる星空スポットなど魅力的な自然を満喫できます。また豊かな自然と人口が本州で一番ちいさな村には、変わらない村民の笑顔があふれています。</p>		
職員数	33人		
先輩職員紹介			
採用年度	平成25年度		
野迫川村の職員になった理由	<p>私が就職したころは、民間の業績が良かったのですが、親の話などから、安定した職業であるという地方公共団体の職員に魅力を感じていました。その中で、出身地の近隣の村である野迫川村が職員を募集しており、小さな村なので、いろいろなことが経験できると思い、受験しました。</p>		
1日のスケジュール（例）	<p>8:30 出勤→CADによる施工図面作成 10:00 現場確認（工事出来型） 12:00 昼食 12:45 積算業務 14:00 他行政機関打合せ 17:00 帰宅</p>		
仕事のやりがい	<p>私が所属している建設課では、土木や林野、簡易水道の行政を行っています。私の担当は、林道事業と簡易水道などです。はじめは、土木用語の「のりめん」や「もりど」などわからず、先輩職員の方にレクチャーしてもらいました。林道事業といっても、野迫川村では生活道路が林道となっています。急峻な本村の災害復旧は規模が大きい現場もありますが、完成した状況を見た人からもらえる「ありがとう」にやりがいを感じます。簡易水道は村民のライフラインであり、なくてはならないものです。そのような中でも、小さな漏水など、トラブルは時々あります。これを解決したときにもらえる「ありがとう」の声もやりがいです。</p>		
受験者へメッセージ	<p>野迫川村は、もともと職員数も少ないことから、土木を経験した職員が少数です。しかし、生活に欠かせないのがインフラの整備です。一緒に、教えあい、助け合いながら、仕事をしていきましょう。</p>		
募集概要			
求める人材・人物像	土木に関する専門知識を生かして、村の安全を守るため、ともに取り組んでくれる方		
担当業務の具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事の積算、施工監督 ・補助金の事務 ・インフラ整備、維持管理業務 		
勤務時間	原則として、8：30～17：00（12：00～12：45休憩）		
採用ステップ	<p>○第2次試験（個別面接） 10月下旬から12月上旬 ▼ ○最終合格発表 11月中旬から12月中旬 ▼ ○意向聴収 ▼ ○採用者決定</p>		

福利・厚生（待遇）	
初任給	大学卒 185,200円（令和5年4月1日現在） ※採用前の経歴などに応じて加算される場合があります。
手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務（時間外）手当、期末・勤勉手当等が条件により支給されます。
昇給	年1回
賞与	年2回（6月、12月）
休日休暇	原則として土曜日、日曜日、祝日 【休暇一覧】 年次有給休暇、結婚休暇、出産休暇、病気休暇、介護・看護休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、育児休業等 【出産・育児に関する休暇等の概要】 出産休暇：産前6週間、産後8週間に取得可 育児休業：3歳未満の子を養育するために取得可 部分休業：小学校就学前の子を養育するため1日2時間を上限に取得可 子どもの看護休暇：小学校就学前の子の看護のため、年5日（2人以上の場合は10日）を上限に取得可 配偶者の出産に伴う休暇：出産時の付添、入院中の世話、出生の届出等のため2日間取得可 男性の育児参加のための休暇：小学校就学前の子の育児のため、妻の産前産後8週間の期間中に5日の範囲内で取得可
その他福利	○健康管理 定期健康診断（年1回） 人間ドック受診・婦人科健診に対する助成制度 ○給付・貸付 病気やけが、出産、災害などに対する給付制度 生活資金や住宅資金などの貸付制度
参考情報	
研修	複雑・多様化する行政課題に対応できる職員を育成するため、奈良県市町村職員研修センター主催の研修等に参加しています。 ○新規採用職員研修 ○ファシリティマネジメント研修 ○建築技術系職員研修 ○補助事業執行事務適正化研修 など
配属・異動・昇任	【配属・異動について】 採用後、建設課に配属 【昇任について】 昇任は、人事評価（職員の能力・業績）、経験年数、適性など総合的に評価して行われます。 基本的な職制は以下のとおりです。 主事補級＞主事級＞主査＞課長補佐級＞課長級
平均勤続年数	12.3年（一般行政職） 令和5年4月1日現在
有給休暇取得日数	11.9日（令和3年度実績）
管理職の女性比率	12%（令和5年4月現在）